

# 物理談話会

(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

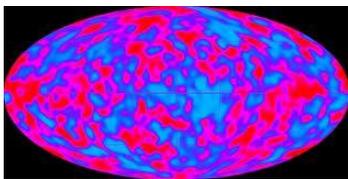
【日時】 12月18日(金)14:40~16:10

【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

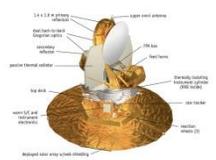
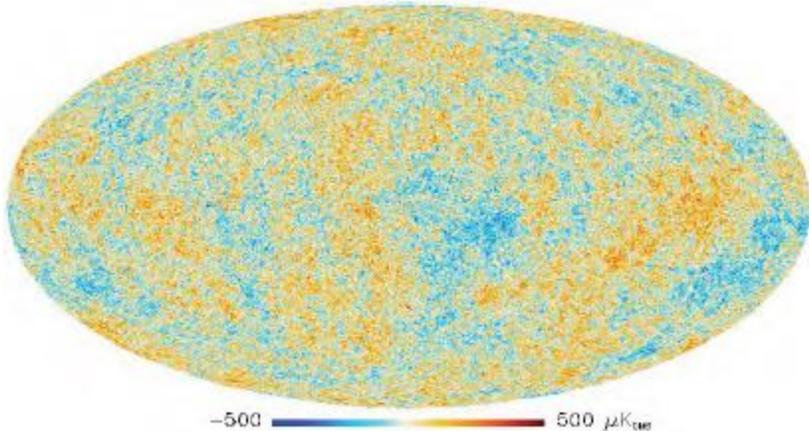
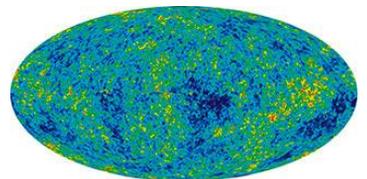
【発表者】 窪田高弘 (物理学専攻・全学教育推進構)

【タイトル】 初期宇宙論と量子重力

1990年代以降、COBE, WMAP、PLANCKといった観測計画の実施により、宇宙背景放射の揺らぎのデータが極めて精度の高いものになってきた。これらのデータにより宇宙に存在する暗黒物質や暗黒エネルギーの割合が明らかにされ、現代の物理学、とりわけ素粒子論の分野に重要な研究課題を提出している。この講演では、素粒子論と宇宙論にまたがる最近の話題と、その背景を解説する。



Planck Collaboration: The Planck mission



物理談話会(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

<http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/ja/grad/rinkou.html>